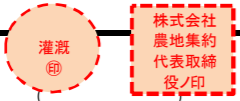


記入例 (A3印刷)



字 削除
字 加入

No. _____

農地法第3条の規定による許可申請書

令和 7 年 × 月 × 日

十和田市農業委員会会長 殿

Table with 6 columns: 申請者 (Applicant), 住所 (Address), 職業 (Occupation), 氏名 (Name), 年齢 (Age), 連絡先 (Contact). Includes fields for lender and borrower details.

下記農地(採草放牧地)について(賃借権)を(設定)したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

国籍等が日本以外の場合のみ記入

(注) 氏名(法人の場合にあってはその代表者の氏名)の記載を自署する場合は、押印を省略することができる。

1 許可を受けようとする土地の所在等

Table with 8 columns: (市町村名), 大字, 字, 地番, 登記簿, 現況, 面積, 所有者氏名, 利用者氏名, 利用権原. Includes a '備考' (Remarks) column for '労力不足' (Labor shortage).

2 契約の内容

Table with 5 columns: 権利を移転又は設定しようとする時期, 対価(円), 賃借料(円), 契約期間, 備考. Includes '許可次第' (Permit order) and '年10,000円/10a'.

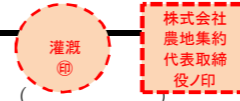
3 賃借人又はその構成員等が、現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の状況

Table with 10 columns: 所在地, 自作地(㎡), 貸付地(㎡), 非耕作地(所在・地番, 面積(㎡), 状況・理由), 借入地(㎡), 非耕作地(所在・地番, 面積(㎡), 状況・理由). Includes a note about recording other land in the '所在・地番' column.

(注) 複数市町村にまたがる場合は、()欄に市町村名及び市町村別の合計面積を記入すること。

4 賃借人又はその構成員等の権利取得後における経営面積の状況

- (1) 権利取得後において耕作の事業に供する農地の面積の合計 (21,000.00 + 1,500.00 = 22,500.00 (㎡))
(2) 権利取得後において耕作又は養畜の事業に供する採草放牧地の面積の合計



字 削除
字 加入

5 賃借人及びその構成員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数及び配置の状況、農地法その他の農業に関する法令の遵守の状況等

Table with 5 columns: 作付(予定)作物, 田, 畑, 樹園地, 採草放牧地. Includes '作付(予定)作物' (Rice, Soybean) and '権利取得後の面積(㎡)' (1,000, 500).

Table with 3 main sections: 大農機具又は家畜 (Large machinery or livestock), 大農機具 (Large machinery), 家畜 (Livestock). Includes details on tractors, harvesters, and sowing machines.

Table with 8 columns: 農作業に従事する者の氏名, 年齢, 権利取得者との関係, 職業, 農作業年間従事日数, 市町村, 住所地・拠点となる場所等, 備考. Includes a '備考' column for '年間延日数' (20 days).

(4) 農地法その他農業に関する法令の遵守の状況等 別紙1のとおり 忘れずに添付

(5) その他の考慮すべき事項 上記以外で考慮すべき事項がある場合記載すること。(例えば、遠隔地に転居する予定の有無や、在留資格の更新等の見込みなどの考慮すべき事項があれば記載すること。)

6 周辺農地との関係

権利を取得しようとする者又はその構成員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載すること。

例: 申請地において予定している作付作物及び耕作内容は、周辺農地において行われているものと同種であり、周囲に及ぼす影響は無いと思われる。

7 地域との役割分担の状況

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどういった場面でどういった役割分担を担う予定であるかを以下に記載すること。

例: 当該申請地における水路の維持管理活動に参加し、周辺農地の水利利用に悪影響がないようにする。

8 適正な利用を確保するための契約条件の状況 確約が必要です

本件に係る権利の設定又は移転は、適正に利用していない場合に使用貸借又は賃貸借の解除をする旨の条件その他の適正な利用を確保するための条件が付された契約により行うものであることを確約します。

9 法人の業務を執行する役員のうち、その法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事する者

Table with 4 columns: 氏名, 役職名, 農業への従事状況, 法人が農業(労務管理や市場開拓等も含む)を行う期間. Includes '心土 破砕' (Soil crushing) and '業務執行役員' (Executive Officer).

指令第 号 農地法第3条第1項の規定により上記申請のとおり許可します。 令和 年 月 日 十和田市農業委員会会長 箕輪 展忠 許可の条件 毎事業年度終了後3月以内にその農地(採草放牧地)の利用状況について、農業委員会に報告すること。

解除条件付農地賃貸借契約書

賃貸人及び賃借人は、農地法の趣旨に則り、この契約書に定めるところにより賃貸借契約を締結する。
この契約書は、2通作成して賃貸人及び賃借人がそれぞれ1通を所持し、その写し1通を十和田市農業委員会（以下「農業委員会」という。）に提出する。
令和 7 年 × 月 × 日

賃貸人（甲）（住 所） 十和田市●●●丁目×番×号
（氏 名） 灌漑 ようすい
賃借人（乙）（住 所） 十和田市大字■ ■字□□×番地×
（氏 名） 合同会社 農地集積代表社員 適地 適作

- 賃借物の目的物
甲は、この契約書に定めるところにより、乙に対して、別表1に記載する土地その他の物件を賃貸する。
- 賃貸借の期間
(1) 賃貸借の期間は、許可日から 年 月 日までの 5年間 とする。
(2) 甲又は乙が、賃貸借の期間の満了の日の1年前から6ヶ月前までの間に、相手方に対して更新しない旨の通知をしないときは、賃貸借の期間は、従前の期間と同一の期間で更新する。
- 契約の解除
甲は、乙が目的物たる農地を適正に利用していないと認められる場合には、賃貸借契約を解除するものとする。
- 借賃の額及び支払期日
乙は、甲に対し、別表1に記載された土地その他の物件につき同表に記載された金額の借賃を同表に記載された期日までに甲の住所地において支払うものとする。
- 借賃の支払猶予
災害その他やむをえない事由のため、乙が支払期日までに借賃を支払うことができない場合には、甲は相当と認められる期日までその支払を猶予する。
- 転貸又は譲渡
乙は、本人又はその構成員等が農地法第2条第2項に掲げる事由により借入地を耕作することができない場合に限って、一時転貸することができる。その他の事由により賃借物を転貸し、又は賃借権を譲渡する場合には、甲の承諾を得なければならない。
- 修繕及び改良
(1) 目的物の修繕及び改良が土地改良法に基づいて行われる場合には、同法の定めるところによる。
(2) 目的物の修繕は甲が行う。ただし、緊急を要する場合その他甲において行うことができない事由があるときは、乙が行うことができる。
(3) 目的物の改良は乙が行うことができる。
(4) 修繕費又は改良費の負担又は償還は、別表2に定めたものを除き、民法及び土地改良法に従う。
- 経常費用
(1) 目的物に対する租税は、甲が負担する。
(2) かんがい排水、土地改良等に必要経常経費は、原則として乙が負担する。
(3) 農業災害補償法に基づく共済金は、乙が負担する。
(4) 租税以外の公課等で(2)及び(3)以外のものの負担は、別表3に定めるもののほかは、その公課等の支払義務者が負担する。
(5) その他目的物の通常の維持保存に要する経常経費は、乙が負担する。
- 目的物の返還及び立毛補償
(1) 賃貸借契約が終了したときは、乙は、その終了の日から 日以内に、甲に対して目的物を原状に復して返還する。ただし、天災地変等の不可抗力又は通常の利用により損失が生じた場合及び修繕又は改良により変更された場合は、この限りではない。

- 契約終了の際目的物の上に乙が甲の承諾をえて植栽した永年性作物がある場合には、甲は、乙の請求により、これを買取る。
- この賃貸借契約に付随する権利又は義務
- 契約の変更
契約事項を変更する場合には、変更契約書を作成し、かつ、農業委員会に通知しなければならない。
- その他この契約書に定めのない事項については、甲乙が協議して定める。

別表1 土地その他の物件の目録等

土地その他の物件の表示					借賃			備考
大字	字	地番	現況地目	面積(m ²)	単位当たり金額(円)	総額(円)	支払期日	
●●●丁目		×番×	田	1,000	年10,000円/10a		毎年12月末日迄	口座振込 現金持参 その他
■ ■	□□	×番××	田	500				
計		2 筆		1,500				

別表2 修繕費又は改良費の負担に係る特約事項

修繕又は改良の工事名	賃貸人及び賃借人の費用に関する支払区分の内容	賃借人の支払額についての賃貸人に償還すべき額及び方法	備考

別表3 公課等負担に係る特約事項

公課等の種類	負担区分の内容	備考
土地改良区賦課金 (●●土地改良区、△△水利組合)	例:水利費:前期賃借人 後期賃借人が負担 例:出役:賃借人に対応	

(記載要領)

- 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載すること。
- 契約の目的物は別表1に表示し、建物、宅地等が農地等と客観的にみて不可分の状態にあるか又は別々に契約することが不適当な場合は、これらも含めて記載すること。
土地は一筆ごと、建物その他の物件は一個ごとに所在、地番及び地目又は種類、面積及び数量並びにこれらの借賃の額、支払時期及び支払方法を記載すること。
「面積」欄には、登記簿の地積と実際の面積とが異なる場合は、登記簿の地積のほかに契約上決めた実際の面積を記載し、さらにその土地の畦畔面積又は土地の一部が溝となっているときは、その面積を記載すること。ただし、土地に付随して賃貸している溝があってもその溝が別の地番である場合は、別行に記載すること。
- 賃貸借の期間については、農地法第17条に規定する一時賃貸借である場合には、「1年前から6ヶ月前まで」を「6ヶ月前から1ヶ月前まで」とする。
- 借賃の額は、一筆ごと又は一個ごとに記載すること。借賃の支払の方法が賃貸人の農業協同組合の預金口座への払込みによる場合には、「賃貸人の住所地において支払う」を「賃貸人が農業協同組合に有する預金口座に払い込む」とする。なお、金銭以外のものを支払う借賃の定めがある場合においては、借賃の支払方法についての特約があるときは、その旨記載すること。
- 賃貸借の目的物の修繕及び改良についての負担区分は、当事者間で取り決めた内容を別表2に記載すること。
修繕改良工事によって生じた施設の所有区分及び補償内容等を定めた場合は、別表2の備考欄にこれらの事項を記載すること。
- 経営費用の負担区分については、当事者間で取り決めた内容を別表3に記載すること。
- 賃借物の返還については、契約期間満了の日から「何日以内」に返還する旨を記載すること。
- 「賃貸借契約に付随する権利又は義務」欄には、この賃貸借契約に付随する権利義務に関する契約がある場合に記載すること。

記入例

() 字 削除
 () 字 加入

別紙

	土地の所在			地目		面積 (㎡)	備考	
	大字	字	地番	登記簿	現況			
1	十和田市	●●●丁目	×番×	田	田	1,000		
2	十和田市	■ ■	×番××	田	畑	500		
3	十和田市							
4	十和田市							
5	十和田市	本表は、記入欄が不足する場合のみ作成・提出						
6	十和田市							
7	十和田市							
8	十和田市							
9	十和田市							
10	十和田市							
11	十和田市							
12	十和田市							
13	十和田市							
14	十和田市							
15	十和田市							
16	十和田市							
17	十和田市							
18	十和田市							
19	十和田市							
20	十和田市							
21	十和田市							
22	十和田市							
23	十和田市							
24	十和田市							
25	十和田市							
26	十和田市							
27	十和田市							
28	十和田市							
29	十和田市							
30	十和田市							
			筆数計	2	面積計	1,500		